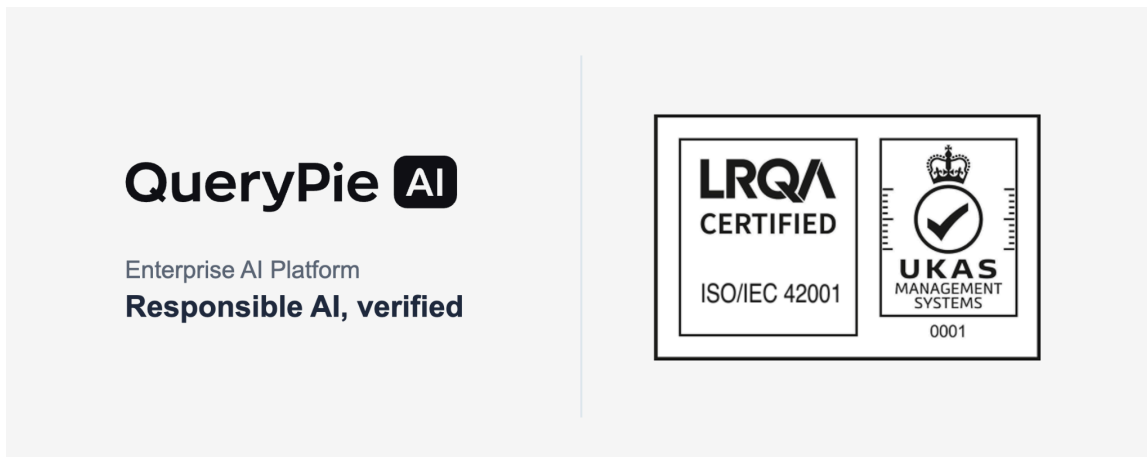


QueryPie AI

エンタープライズAIプラットフォーム「QueryPie AIP」、 AIガバナンスの国際標準規格「ISO/IEC 42001」認証を取得

～マルチLLMオーケストレーション・RAG・AIエージェント管理・MCPベース
統合を含むAI対応サービス全体で、AIガバナンスの世界標準に準拠～



(2026年6月8日 QueryPie AI合同会社)

QueryPie AI合同会社（東京都港区、代表：有延 敬三、以下 当社）は、エンタープライズAIプラットフォーム「QueryPie AIP」に適用される人工知能マネジメントシステム (AIMS) について、AIガバナンスの国際標準規格である「ISO/IEC 42001:2023」認証を取得したことをお知らせいたします。

本認証は、当社のグローバル開発拠点 (QueryPie, Inc.) において構築・運用されているAIマネジメントシステムに対して授与されたものです。これにより、日本市場において当社が提供する製品・サービスの基盤が、世界最高水準のAIガバナンスとセキュリティ基準を満たしていることが客観的に証明されました。

■ 背景

「ISO/IEC 42001:2023」は、国際標準化機構 (ISO) と国際電気標準会議 (IEC) が策定した、AIシステムを責任をもって開発・提供・運用するための世界初のAIマネジメントシステム国際規格です。AI技術が企業の業務・データ・意思決定プロセスに深く組み込まれる中、AIをいかに透明性・安全性・説明責任をもって管理・運営するかは、セキュリティおよびコンプライアンス戦略における重要な指標となっています。

当社は、AIが企業の業務システム・データ・ツール・エージェントと連携するほど、技術のパフォーマンスと同様に信頼性・制御可能性・監査可能性が不可欠だと考えています。企業がAIを実際の業務に導入するためには、迅速な導入だけでなく、AIがどのようなデータやシステムにアクセスし、どのような方法で運用されているかを管理できる体制が必要です。今回の認証取得は、QueryPie AIPに適用されるAIマネジメントシステムが国際標準の観点から第三者機関による検証を受けた証です。

■ 認証の適用範囲

本認証は、組織の拠点単位ではなく、QueryPie AIPサービスに適用されるAIマネジメントシステムそのもののガバナンス体制を対象としています。具体的な適用範囲は以下の通りです。

対象プロダクト：QueryPie AIP（エンタープライズAIプラットフォーム）

AIプロバイダーとしての役割におけるAIマネジメントシステム (AIMS) / マルチLLMオーケストレーション / RAGベースAIアシスタントサービス / AIエージェント管理 / 商用LLMサービスを活用したModel Context Protocol (MCP) ベースのSaaS・インフラストラクチャ統合を含むAI対応サービス

QueryPie AIPについて

QueryPie AIPは、企業が複数の大規模言語モデル（マルチLLM）の活用、MCP (Model Context Protocol) ベースの業務システム連携、RAGベースの知識活用、AIエージェント運用を一つのプラットフォームで構築・管理できるエンタープライズAIプラットフォームです。QueryPie AIPは単なるAIチャットツールではなく、組織レベルでの権限管理・監査・DLP (Data Loss Prevention) ・利用量管理といった運用コントロールとともにAIを業務環境に統合することを可能にします。

■ AIガバナンス体制の整備

ISO/IEC 42001認証の取得にあたり、AIサービスの開発・提供・運用にかかわるスコープ・業務プロセス・技術境界・データ境界・ステークホルダー要件を明確に定義しました。また、AI影響評価、セキュリティおよび個人情報保護管理策、運用安定性管理活動を文書化・点検し、AI関連リスクの特定・評価・統制のプロセスを実装しています。

これまで、SOC 2 Type II、PCI DSS、ISO/IEC 27001、ISO 27701、ISO 27017、ISO 27018、CSA STAR、ISMS-Pといったセキュリティおよびコンプライアンス管理体制を継続的に整備してきました。今回のISO/IEC 42001認証はこれらの体制にAIマネジメントシステムの観点を加えるものです。

■ 代表者コメント

「QueryPie AIはこれまで構築してきたセキュリティおよびコンプライアンス体制に加え、今回のISO/IEC 42001認証を通じて、AIマネジメントシステムについても第三者機関による検証を受けました。認証の取得自体を目的とするのではなく、お客様が安心して利用できるサービスを提供し続けるための継続的な取り組みの一環です。」

QueryPie AI (QueryPie, Inc.)

創業者 兼 CEO 黄 仁瑞 (ファン・インソ)

【会社概要】

■ 日本市場における展開

QueryPie AIは日本法人としてQueryPie AI合同会社（東京都港区虎ノ門）を構えており、日本のエンタープライズ企業に対してQueryPie AIPの提供・導入支援を行っています。グローバル標準のAIガバナンス体制のもとで開発・運用されているQueryPie AIPを通じ、日本企業が安全かつ透明性の高い形でエンタープライズAIを業務に統合できるよう支援してまいります。

所在地：東京都港区虎ノ門1丁目17番1号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15階

代表：有延 敬三

URL：<https://www.querypie.ai/>

■ QueryPie AIについて

2016年に米国シリコンバレーで設立されたCHEQUER Inc.（米国本社名）および子会社QueryPie, Inc.は、「QueryPie AI」ブランドのもと、エンタープライズAI基盤プラットフォームをグローバルに展開しています。2025年に本格展開した「QueryPie AIP」は、Model Context Protocol (MCP) とAIエージェントを統合し、企業がAIを安全かつ自律的に活用できる環境を提供。GDPR、ISO 27001/27701、ISMS、PCI-DSS、SOC2等の国

際標準に準拠した次世代ゼロトラストプラットフォームとして多数の企業に採用されています。FDE (Forward Deployed Engineer) サービスを通じ、課題発見から本番運用まで包括的に支援し、AI人材不足の企業でも確実なAI活用を実現。Salesforce Ventures等から3,300万ドル以上を調達し、日本、アメリカ、東南アジア市場で事業を拡大中です。

*本文中に記載された会社名、サービス名等は該当する各社の登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

QueryPie AI 合同会社 広報担当

Email : pr@querypie.com